

保健師職能委員会たより

Vol.1

今年度から保健師職能委員長を務めさせていただきます金子です。私を含めた4名が新委員となり、令和5年度の保健師職能委員会活動がスタートしました。皆様のお力添えをいただきながら活動を推進してまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

今年度も「保健指導のスキルアップのための保健指導ミーティング」の実施やニュースレターによる情報発信などの取組をとおして、産業や医療、行政など様々な分野で活動する保健師間の交流やネットワークの構築をはかっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(保健師職能委員長 金子敬子)

研修会のご案内

保健指導ミーティング！～気軽にできる事例検討会でスキルアップ～

1 開催日時 令和5年12月16日(土) 13時～16時

2 場所 とちぎ健康の森 2階 小会議室

宇都宮市駒生町3337-1 TEL:028-625-6141

3 内容

(1)実践力Up事例検討会を体験してみよう！

- ・事例は参加者の実際の事例から選定します。
- ・ホワイトボードに記入しながら気軽に意見交換。
- ・ファシリテーターと板書は保健師職能委員が行いますので、リラックスして参加できます。

(2)講義で学ぼう！

テーマ：「メンタルヘルス上の課題を有する事例への支援について」

～保健指導のスキルを上げるために～

講師：自治医科大学 看護学部 教授 永井 優子 先生

4 受講料 会員 1,375円 非会員 2,750円

5 申し込み 事例提出(新任期のみ)をお願いします。

令和5年11月15日必着 看護協会ホームページからダウンロード

6 主催 栃木県看護協会 保健師職能委員会



受講者の声

事例に対してのご助言・コメントを講師からいただき、(研修の事例としては選ばれなかったものの)提出した甲斐があったと感じた。



自らの担当分野以外の事例について検討することで、対象の捉え方や支援方法についてより視野を広げる良い機会となった。

他の保健師と事例検討ができて、いろいろな視点からの意見が聞けたので勉強になった。

令和5年度保健師職能集会研修会報告

日時：令和5年6月17日

テーマ「妊娠・産褥期にメンタルに問題を持つ人への支援～多職種との協働～」

講師：上都賀総合病院 精神科 高山 剛 氏

今年度の研修会は、助産師職能委員会と合同でハイブリッド開催とし、39名が参加しました。

○妊娠可能年齢の女性で問題となる精神疾患について

少子化や出生数の減少、妊婦・褥婦の自殺問題、妊婦・褥婦の精神障害は児への虐待や不適切な養育環境と関連しているなどにより、妊娠・産褥期のメンタルヘルスが注目されている。

躁うつ病は遺伝的傾向が多く、産褥期に重症化することがある。躁うつ病のうつは難治で自殺のリスクが大きい。

発達障害(ASD,ADHD)は遺伝的傾向があり、発達障害の母親が発達障害の児を養育する状況が起こりうる。

知的障害を持つ方の妊娠・出産・育児については、妊娠・分娩を通じて公的機関の援助が必要となる。

○精神障害をもつ妊婦・褥婦への対応

うつ病やパニック障害、不安障害、躁うつ病、統合失調症などは、抗うつ薬や抗精神病薬などの薬物治療手段があり、妊娠前からこれらの疾患に罹患している事が分かっている場合は精神科受診継続を勧める。

境界型キャラクター障害は治療が難しいが、本人が衝動的行動をとらないようにつかず離れず見守り、「児を保護する」という視点をもつ。

うつ病については、重症度の判断が重要となり、体重減少や罪業妄想、心気妄想、表情が消える、強い不眠などの症状の程度を確認し、重症度が高い場合には精神科受診の検討を要する。

一人で抱え込まず、みんなで対応する。多職種連携が必要であり、多職種カンファレンスを実施し情報の共有や対応の検討を行う。

○プレコンセプションケアの必要性と保健師・助産師の役割

プレコンセプションケアとは、狭義では精神疾患を有する女性とその家族に対して妊娠前から相談の上、管理方針を決めていくこと。特に妊娠後の孤立防止のために、産婦人科、精神科、行政が連携し、出産・育児サポート体制の構築が重要となる。

助産師は精神障害を持つ妊婦や褥婦に最初に関わる機会をもっており、保健師は継続的に関わる機会を持っているため、それぞれがメンタルヘルスの知識と、産婦や褥婦が利用できる社会支援に対する広い知識を持って、連携しながら妊産婦、褥婦、児の援助をする役割がある。

疾患や対応の基本的知識と事例の紹介があり、非常に分かりやすくおもしろかったです。困難事例は多職種で関わらないと支援者も疲弊する、児を被害者にしないためにも多職種連携は非常に大切だと思います。



受講者の声

「生活を見る」が治療のための情報になるということで、コロナで活動が制限されましたが、積極的に訪問等、現場を確認したいと改めて思いました。

産業保健分野（産保センター）の保健師です。日頃なかなか学ぶ機会がないお話を聞くことが出来ました。働く女性のメンタルヘルスの問題について、今後ご教授をこうこともあるかと思います。よろしくお願いいたします。

メンタル・精神疾患について改めて学ぶことができたことや、メンタルに問題を持つ妊産婦の特徴が分かり、具体的な支援につなげたいと思いました。

入会案内

看護協会入会をお待ちしています！

看護協会では、「保健師の人材確保」や「保健師のキャリア形成支援」などの事業を展開しています。

職域を超えた保健師同士の交流はもちろん、看護師・助産師とのネットワークも広がります。入会をお待ちしております。

栃木県看護協会会員数(2023年9月) **12,227人** (保健師487人)

入会に関する問い合わせ

TEL : 028-625-6141

(月～金 9:00～17:00)

FAX : 028-625-8988

E-mail : info@t-kango.or.jp